

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	15-054	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Primary prevention of stroke by a healthy lifestyle in a high-risk group. 高リスク集団における健康志向生活による脳卒中の1次予防		
執筆者		
Larsson SC, Åkesson A, Wolk A.		
掲載誌		
Neurology. 2015; 84: 2224-2228.		
キーワード		PMID
疫学、生活習慣、予防、リスク要因、脳卒中		25934859
要 旨		
<p>目的： 研究の目的は、循環器疾患の既往や状況により CVD 高リスクにある男性における、健康的な生活習慣の影響を調べることである。</p> <p>方法： 研究対象は、前向きコホート研究 (the Cohort of Swedish Men) に参加し、高血圧、高脂血症、糖尿病、心不全、心房細動のいずれかの既往歴がある 11,450 名の男性である。また、本研究の対象者はベースライン時 (1998 年 1 月) において、食事と生活習慣の調査があり、脳卒中と虚血性疾患の病歴のないものとする。健康的な生活指標としては、リスクの低い食生活 (野菜果物 5 盛り/日以上、加工肉 30g/日未満)、非喫煙、運動量 150 分/週以上、BMI18.5-25 kg/m²、適度な飲酒 1-30 g/日とし、健康的な場合にスコアが高くなることとした。脳卒中イベントの情報は、疾患登録データベースから得られた。</p> <p>結果： 平均 9.8 年の追跡期間で、脳卒中の罹患数は 1,062 名であった。健康志向スコアの数が増えると脳卒中罹患は、全体・タイプ別ともに、減少する傾向がみられた。脳卒中全体において、健康志向スコア 5 つ以上の場合、0 または 1 つの場合に対して、調整済み相対リスクは 0.28 (95%信頼区間 0.14-0.55) と有意に低かった。脳梗塞、脳出血の調整済み相対リスクは、それぞれ 0.31(0.15-0.66)、0.32 (0.04-2.51)であった。</p> <p>結論： 脳卒中高リスクにある男性において、健康志向の生活習慣は有意に脳卒中のリスクを下げる事が示された。</p>		